様式第６号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年４ 月１７日

宮崎市長　　清山　知憲　殿

主たる事務所の所在地　宮崎市祇園1丁目49番地
名　　称　中央西まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名　委員長　和田　知彦
電　話　番　号　0985-69-0507

令和6年5月21日付けで変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第１８条第１項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

（イ）収支決算書

（ロ）事業実施報告書

（ハ）事業別収支計算書

（二）備品管理台帳

（様式第5号）

令和6年度　事業実施報告・収支決算書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

1．総括

令和6年度は、地域のニーズに応じた事業及び地域自治会、小・中学校、高校、大学、各種団体と中央西まちづくり推進委員会が連携し、地域と一体となった事業を目標とし各種事業を実施した。

2．収支決算

（1）収入の部

単位：円

項目	予算 a	決算 b	差異 b－a	備考
基礎交付金	4,143,000	4,143,000	0	
前年度繰越金	1,574,705	1,574,705	0	
その他（雑収入）	50	2,177	2,127	利息アップ
参加者負担金	98,000	86,100	▲ 11,900	寄せ植え30,500 交流会8,100 体験学習47,500
寄付金			0	
合計	5,815,755	5,805,982	▲ 9,773	

（2）支出の部

分野		事業名	実施年数	予算 c	決算 d	差異 c-d	備考
防	1	中央西地区防犯事業	16年目	120,000	122,520	▲ 2,520	
防	2	中央西地区防災事業	16年目	237,000	170,520	66,480	
防	3	中央西地区青色パトロール隊事業	14年目	601,000	580,991	20,009	
福	4	健康ふくしまつり事業	16年目	462,000	342,441	119,559	
福	5	高齢者と子どもの居場所づくり事業	9年目	140,000	112,388	27,612	
福	6	講習会事業	6年目	29,000	10,090	18,910	
再	7	中央西地区親睦ミニバレーボール大会事業	16年目	137,000	122,895	14,105	
再	8	中央西地区大運動会事業	16年目	652,000	87,187	564,813	
環	9	リサイクル事業	14年目	20,000	7,137	12,863	
環	10	中央西花のまちづくり事業	13年目	301,000	261,829	39,171	負担金30,500
伝	11	ふるさとの歴史伝承事業	10年目	50,000	4,158	45,842	
教	12	子どもとおとなの交流会事業	15年目	194,000	148,533	45,467	負担金8,100
教	13	体験学習事業	12年目	374,000	338,889	35,111	負担金47,500
教	14	子育てサポート事業	10年目	146,000	134,164	11,836	
教	15	子どもふれあい広場事業	9年目	205,000	172,817	32,183	
他	16	事務局運営事業	13年目	1,422,755	1,004,304	418,451	
他	17	まちづくり広報事業	11年目	122,000	107,400	14,600	
他	18	中央西みんなの情報ひろば事業	9年目	563,000	576,920	▲ 13,920	
他	19	災害対応資機材等購入事業	6年目	40,000	37,340	2,660	
次年度繰越金					1,463,459	▲ 1,463,459	
合計				5,815,755	5,805,982	9,773	

３．実施報告

［１］防犯・防災に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>中央西地区防犯事業</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２１年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">近所づきあいで、ゆとりのあるまち
④地域全体で子どもたちを見守るまち＜安全なまちづくり＞
(1)通学路等におけるパトロールの実施や朝のあいさつ運動</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">児童・生徒たちの登下校時の交通事故防止、防犯のため、各自治会・民児協・青少協・老人クラブ・ＰＴＡ・公立大ボランティア・青パト等の各種「防犯パトロール隊」が円滑に効率的に活動できるよう連携を図り、安心・安全なまちづくりを推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">１．新１年生に交通安全定規の贈呈を実施
・令和6年4月15日…江平小学校
・令和6年4月18日…西池小学校
・令和6年4月22日…附属小学校

２．防犯パトロール隊連絡体制会議　令和6年6月19日
＜出席団体・機関＞
各自治会、民児協、青少協、青少年指導委員高千穂班、各小中学校、各小中学校PTA、交番所管区長、青パト隊、地域事務所
登下校時の見守り活動やパトロール活動(該当団体）の個別報告により、情報の共有化と連携強化が図られた。

３．西池小児童を対象に、地域防犯見守り隊員の紹介を行った。
令和6年5月29日
４.防犯ボランティアフォーラム　令和6年6月22日
５．特殊詐欺対策講座　令和6年7月18日
警察庁のビデオ放映を行い、地域住民に特殊詐欺の手口を知らせた。
６.北警察署年末防犯キャンペーン　令和6年12月17日</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">122,520　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>延べ　707　人</td><td>延べ　184　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>延べ　50　人</td><td>延べ　48　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>延べ　757　人</td><td>延べ　232　人</td></tr></table>※隊員数と講座参加者数</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等)</td><td colspan="3">・見守り活動やパトロール活動が交通事故防止や犯罪抑止に繋がり、安全で安心なまちづくりの一助となっている。
・住民より防犯のための巡回要望があった場合は、指定場所の巡回も実施している。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	連絡体制会議前にアンケートによる意見収集を実施し、円滑な活動のために必要な消耗品を揃え配布している。
	②住民の参加	B	B	各自治会や各種団体を中心に、ボランティアを募っている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各自治会や地域内の小・中学校からの要望を受けて、取り組んでいる事業である。
	④各種団体との連携	A	A	各自治会は登校時の危険場所、民児協は下校時の交通量の多い場所で重点的に活動している。
広報	⑤事業の周知	B	B	隊員募集ちらしや活動状況報告をまちづくり「かわら版」ＨＰ「中央西みんなの情報ひろば」に掲載し、広報・周知活動を行っている。
事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	各防犯パトロール隊員の高齢化が課題であり、隊員募集活動を定期的に継続していくことが必要である。
	⑦住民の満足度	A	A	地域内の犯罪抑止を期待する住民の認知度も高く、感謝しているとの声も届いている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・2年連続で西池小学校での防犯パトロール隊の紹介を対面方式で行った。また、特殊詐欺対策講座も3年連続で実施した。
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞ 対応　未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞ 対応　未・済

３．実施報告

［１］防犯・防災に係る事業

事 業 名	中央西地区防災事業 （ストリートウォッチング）	実施年数	14 年目
事業期間	開始：平成２３年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	近所づきあいでゆとりのあるまち ②災害につよいまちづくり (1) 災害に対する啓発を行い、防災意識の向上		
目　　的 （期待される効果）	児童が災害時に自ら判断し行動できるよう意識づける。 児童に自治会など地域に見守られて生活していること、支え合いながら生活していることを理解させる。 児童が訪れる施設の方々も災害や危険箇所について、もう一度考えるきっかけづくりになる。 地域の方々が引率や説明ポイントで説明することにより、児童と地域の方々と交流を図ることができる。 地域住民の防災情報として活用できる資料を作成し、地域に発信する。		
事業内容・手段	日時：　（ＳＷ）令和6年12月3日(火)～4(水)　　各9：00～11：30 (事前)11月19日(火)(事後)12月18日(水)各1.2時限目 場所：総合文化公園から西池小までの16コースならびに西池小内 ＜内容＞ ・宮崎公立大学、西池小学校と連携し、西池小学校５年生を対象に、予め設定した地域内のコース上の防災施設や危険個所を調査。 ・地域内の災害時の危険な場所、安全な場所などのチェック、防災施設やその機能の把握と地域内の企業を訪問し防災の取組について調査した。 ・説明ポイントでは、地域の方から災害関連や自治会の活動等の話をして貰って地域と学校が一体となった取り組みになった。 ・現地調査に先立って京大山下助教による事前授業を行い、地震や津波の基本的な知識と心構えについて学んだ。 ・現地調査後は公立大新村助教によって事後授業を初めて開催し、現地調査結果を踏まえて災害への対応について全員で検討した。 また尾崎気象予報士の震災体験を踏まえた災害対応について貴重なお話を伺った。		
事 業 費	0　　円		
対 象 者	中央西地区住民、西池小学校、宮崎公立大学生		
参加者数 （内訳）	年　度	令和６年度	令和５年度
	西池小５年生	412 人	142 人
	スタッフ	延べ　98 人	延べ　54 人
	合　計	延べ　510 人	延べ　196 人
住民の声（アンケートの結果等）	コースの設定・所要時間については、概ね良いとの声が寄せられた。 新たな説明ポイントを公募して追加するなどの改善も必要である。		

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	小学生の防災意識の向上が図られ大変良い事業であるとのアンケート結果を得られた。
	②住民の参加	A	A	地域の12施設が参加。初参加の住民の方もおられた。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の子供達への防災教育として大変重要であり、地域の防災力向上の一助となる。
	④各種団体との連携	A	A	企画段階から西池小学校、宮崎公立大学と連携して実施することができた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	NHKと民放TV局で放映され、視聴者からの反響もあった。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	マスコミで報道されたこともあり、地域の災害に対する関心度は高いと思われる。
	⑦住民の満足度	A	—	参加された方は防災教育に協力したという達成感を得られ、満足度は高いと思われる。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 地域内の１２施設およびボランティアの協力により、滞りなく実施することができた。また、地図作成も次年度より、まちづくりで対応する目途が付いた。 事前、事後授業と現地調査を組み合わせることで、体系的で効果的な事業となった。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［１］防犯・防災に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>中央西地区防災事業
（防災訓練・防災出前講座）</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２１年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">近所づきあいで、ゆとりのあるまち
②災害に強いまちづくり
(1)災害に対する啓発を行い、防災意識の向上</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">防災訓練を通して地域の防災力の向上、住民の防災意識（自助、共助、協働）の醸成を図り、災害に強いまちづくりを推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">【防災フェスタ】
日時： 令和６年９月２９日（日）10:00～12:00
場所： 宮崎西地区交流センター
内容： 水消火器体験、防災資機材取扱い、煙ハウス体験、AED体験
避難所体験、防災チェック、防災ｸﾞｯｽﾞ展示、DVD災害映像
視聴、段ボールベッド・簡易トイレ、防災アプリの使い方
軽トラ実験教室など
【子ども防災出前講座（なまずの学校）】
①西中学校 令和6年6月26日、7月8.9.12.17日
②霧島児童館　令和6年7月30日
③ヤングフェニックスサマーキャンプ(小児糖尿病医療キャンプ)
令和6年8月16日　宮崎農業科学館</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">138,982　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民・サマーキャンプの参加者</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>403 人</td><td>212 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>103 人</td><td>81 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>506 人</td><td>293 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・出前講座、防災カードゲームを使い自ら考えながら親子で楽しく学べた。被災した時のシュミレーション出来て良かった。
・今年は地震などの災害が多く家族連れなど関心が高かったと思います。改めて、自分の身を守る大切さを実感しました。
・ＡＥＤはとても勉強になりました。
・災害は怖いと思った。何か起きないようにするだけではなく起きた時の対応が大事なんだと思った。
・楽しみながらたくさんの体験ができ、新たな知識を得る事ができ良かった。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	防災関連の訓練は繰り返し行うことが大切であり、地域のニーズと合致する。
	②住民の参加	A	A	地域の自治会、小、中学校へチラシを配布していたため、多くの参加申し込みがあった。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり推進委員会の基幹事業の一つであり、地域内で定着している。
	④各種団体との連携	A	A	中央西自治連、北消防署、市危機管理部、小・中学校のPTAと連携し開催した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	開催案内チラシを作成し、地域住民に配布した。 ＨＰ情報広場・ＬＩＮＥに掲載。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	訓練での体験が防災意識の向上に繋がっており、地域の防災力向上が期待される。
	⑦住民の満足度	A	A	防災訓練に対する住民の反応は大変好評であり、住民の満足度は高いと思われる。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・スタンプラリー方式で行ったことにより、家族連れの参加が多かった。 ・煙ハウス、AED、水消火器、段ボールベット、簡易トイレなどの組み立て体験等、親子で楽しく学べる点が良かった。 ・アンケートに、「避難所で生活することになった時、あなたにできる事を教えてください」という項目を設け、互助について考えてもらえたと思う。 ・もう少し事前の打合せがあってもよかったのかもしれない。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［１］防犯・防災に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>中央西地区防災事業
（災害図上訓練：ＤＩＧ）</td><td>実施年数</td><td>６年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成３１年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">近所づきあいで、ゆとりのあるまち
②災害に強いまちづくり
(1)災害に対する啓発を行い、防災意識の向上</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">1　突然やってくる地震、集中豪雨などに対して起こりうる災害をイメージしてどのような準備や対策をすべきか考え災害に対する問題意識を明確にすることで防災意識の向上を図る</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">日時：　令和6年9月4日（水）　13:30～15:00
場所：　宮崎西地区交流センター　学習室
日時：　令和6年10月20日（日）　10:00～12:00
場所：　和知川原自治会公民館
内容：　各地域の地図を囲みながら地域の防災対策を全員で地域の問題点を把握する</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">31,538　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区各自治会地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>42 人</td><td>生徒　6 人</td></tr><tr><td>防災士</td><td>0 人</td><td>先生　6 人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>14 人</td><td>1 人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>56 人</td><td>13 人</td></tr></table>＊令和5年度は、ＨＵＧ訓練を地域防災士を対象に実施
＊令和6年度は、ＤＩＧ訓練を各自治会地域住民を対象に実施</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・大変勉強になった
・今回の訓練を家族や友人に伝えみんなで考える機会をつくりたい
・学んだことを災害時に役立てたい</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	災害に対する、防災・減災は重要な関心事項である。
	②住民の参加	B	B	防災士を含め参加者は全て地域住民である。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	防災士、地域の住民を対象に、防災研修の一環として実施した。
	④各種団体との連携	A	A	防災士の参加を得ることができた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	B	地域の住民を対象にすることで広く周知できた
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	防災・減災に対する課題認識の向上に繋がった。
	⑦住民の満足度	B	B	防災・減災の必要性を再認識することができたと思われる。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 地域の中での防災・減災の取組みの重要性を改めて認識でき地域の現状を知る良い機会となった 防災士・地域とのコミュニケーションを図り、強固なネットワークを構築していきたい。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［１］防犯・防災に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>中央西地区青色パトロール隊事業</td><td>実施年数</td><td>14 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">開始：平成２３年度</td><td>終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">近所づきあいで、ゆとりのあるまち
④地域全体で子どもたちを見守るまち〈安全なまちづくり〉
(1)通学路等におけるパトロールの実施や朝のあいさつ運動</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">定期的に青色パトロールカーで地域内を巡回することで、児童の安全および犯罪の防止を図り、安全なまちづくりを推進する。効果として、「犯罪者を寄せ付けない効果」「地域住民に安心を与える効果」「みまもり効果」が期待できる。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">地域内住民の隊員で構成されたパトロール隊による定期巡回
・青色パトロール車にて（２名以上乗車）、毎水曜、金曜の児童下校時間帯に安全声かけを行った。また、防犯のため巡回希望の地区は複数回の巡視も行っている。
・同様に、夜間パトロールを月２回実施し、地域内の公園などを重点的に巡回することで、犯罪の防止に努めた。また、公園内のごみの回収も実施し環境美化にも務めている。
・青色パトロール隊講習会開催：令和６年６月６日（木）　受講11名
・ＡＥＤ講習会開催：令和６年５月２３日（木）　受講33名
・宮崎北警察署年末年始特別警戒隊発隊式参加：令和6年12月2日（月）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">580,991　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3">
<table>
<tr><td>年　度</td><td colspan="2">令和６年度</td><td colspan="2">令和５年度</td></tr>
<tr><td>昼</td><td>91 回</td><td>延べ　240 人</td><td>95 回</td><td>延べ　288 人</td></tr>
<tr><td>夜</td><td>22 回</td><td>延べ　64 人</td><td>23 回</td><td>延べ　81 人</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>－</td><td>延べ　人</td><td>－</td><td>延べ　18 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>113 回</td><td>延べ　304 人</td><td>118 回</td><td>延べ　369 人</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">地域の方に青色パトロール隊の認知が広まり、犯罪の抑止力につながっている。また、下校中の子ども達が笑顔で手を振ってくれ、パトロール隊員も元気が出るとの声が多い。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	防犯活動は地域住民には非常に重要で関心も高い。
	②住民の参加	B	B	地域内の各種団体所属の住民が多数参加して活動している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域内の防犯活動として定着しており、まちづくり推進委員会としては妥当で重要な取り組みである。
	④各種団体との連携	B	B	地域内の学校や関係団体との連携も図られている。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	児童の下校時間帯は、青パト活動の広報と合わせて安全運転の呼び掛けも行っている。また、防犯パトロール隊連絡体制会議でも活動内容を報告している。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	青色パトロール隊の活動が地域内の犯罪抑止に繋がっていると考えられる。
	⑦住民の満足度	A	A	地域内住民の満足度は高いと思われる。
事業継続の必要性		(有) ・ 無		

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 夜間パトロールでは、街区公園の街灯電球切れや、トイレの詰まり等を公園緑地課へ報告し、安全でより良い環境作りにも役立っている。 地域内でパトロールの要請があった場合は、意識して巡回するように心がけている。 隊員の高齢化による隊員の減少傾向が続いているため、定期的な隊員募集などの施策が必要である。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

３．実施報告

［２］地域福祉に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>健康ふくしまつり事業</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２１年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">支えあう地域づくり老いも若きも心ひとつに
②高齢者・障がい者がいきいきしているまち
＜高齢者・障がい者の生きがいづくり＞
(1)高齢者、障がい者と子どもの交流の場の提供
④各世代が支えあうまち〈３世代交流の推進〉
(1)各世代が助けあえるように世代交流の推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">地域住民が健康について見直す機会を提供し、自ら健康づくりを始めるきっかけを作るとともに、高齢者・障がい者、子どもを含む地域住民同士が触れ合える居場所を提供することで世代間交流を推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">日時： 令和6年12月1日（日）　10:00～14:00
場所： 宮崎西地区交流センター
内容： ・子ども広場（アートバルーン／お手玉／皿回し）
・食用色素の分離実験(南九大：食品開発科学学科)
・地域カードの部屋（公立大：国際文化学科）
・外国語読み聞かせ（公立大：地域研究センター）
・赤ちゃん・幼児体操（ぴよすけ）
・DVDでの健康体操（包括支援センター）
・福祉用具展示（池部医療器(株)）
・体力測定（祇園デイサービス）
・骨密度測定（はまゆう乳業明治牛乳宮崎東センター）
・健康チェック／お薬相談（明治安田生命／市郡薬剤師会）
など</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">342,441　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>341　人</td><td>411　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>118　人</td><td>39　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>459　人</td><td>450　人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・子供が楽しめてよかったです。
・体の年齢などがわかってよかったです。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	健康と福祉の活動を実際に体験でき、諸団体と地域住民が直接触れ合えるイベントに毎年多くの方が参加することからニーズは高い。
	②住民の参加	A	A	子どもと子育て世代から高齢者まで幅広い年代からの参加があった。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	毎年楽しみにされている方も多く、福祉部会の重要な事業の一つである。
	④各種団体との連携	A	A	包括支援センター、公立大、南九大、民間の医療機器会社など広く連携できた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	自治会回覧他、ＨＰ情報ひろばへの掲示などを通して広く周知した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	高齢化や核家族化により世代を超えた交流や健康に対する啓発ができた。
	⑦住民の満足度	A	A	アンケートからも概ね参加者が満足した様子がうかがえる。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ・同時開催となった子ども育成部会の「わんぱく広場」とのシナジー効果で多くの参加者があった。 ・骨密度測定など新たな事業者にも出店してもらい、利用者の満足度も高かった。 ・体力不足や健康状態を知っていただけたので改善に向けた具体的な対策まであると更に良かったか。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［２］地域福祉に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>高齢者と子どもの居場所づくり事業</td><td>実施年数</td><td>9 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２８年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">支えあう地域づくり老いも若きも心ひとつに
①気軽に集まれる場所のあるまち＜地域活動の拠点づくり＞
（1）気軽に集い交流を深めることができる場や機会の充実</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">高齢者と若者との交流の場を提供し外出や社会参加の促進を図る。
地域で高齢者の見守りが出来る体制を整える。
高齢者の居場所を作り心身の健康づくりや介護予防の促進を図る。
子育て世代が気軽に集まれる居場所、相談できる環境を整える。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">地域内にある施設を利用して、一人暮らしの高齢者や子育て世代の親子を対象に、各サロンや講座を開催し、体操や茶話会などを実施した。
・地区社協、公立大との連携事業「サロンdeぴーすけ」
・子育てサロン「ぴよスケ」
・高齢者サロン中央保育園
・子ども食堂たんぽぽ
・元気っこ子ども食堂
・なかつせ寄合所</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">112,388　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>延べ　302　人</td><td>延べ　226　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>延べ　123　人</td><td>延べ　92　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>延べ　425　人</td><td>延べ　318　人</td></tr></table>※令和6年12月23日現在</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	社協および各種団体より高齢者の地域参加を強く望まれている。また、地域内の子育て世代の交流の場としても大切な役割を果たしている。
	②住民の参加	B	B	サロン開催の日は、近所の方をお誘いして参加される方が多かった。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高齢者と子ども、子育て世代の親の居場所づくり活動として意義が大きい。
	④各種団体との連携	A	A	社会福祉協議会と相互に連携をとっている。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	自治会回覧、福祉協力員による広報を行った。中止の場合は、電話による連絡で周知した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	新たに開設したサロンの周知・広報や他のサロンの活動内容を積極的に公開し口コミを主体に参加増を図った。
	⑦住民の満足度	A	A	サロンや子ども食堂を交流の場として楽しみにされている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 休止していたサロン(中央保育園)が再活動した。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［２］地域福祉に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>講習会事業</td><td>実施年数</td><td>６ 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成３１年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">支え合う地域づくり老いも若きも心ひとつに
④各世代が支えあうまち＜3世代交流の推進＞
(1) 各世代が助けあえるように世代交流の推進)</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される
効果)</td><td colspan="3">地域福祉に関する講習会（勉強会）を開き、福祉に関する
正しい知識や理解を得る。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">講習会（知っちょる？持っちょる？やっちょる？いきいき手帳講座）

日時：令和６年１０月１１日（金）　10:00～、13:30～
場所：宮崎西地区交流センター
参加人数：31名
講師:福祉部　地域包括ケア推進課
【午前の部】　東　由希子
【午後の部】　永田　涼花</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">10,090　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>23　人</td><td>68　人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>8　人</td><td>9　人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>31　人</td><td>77　人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アン
ケートの結果等）</td><td colspan="3">知らないことが色々ありましたので勉強になりました。
手帳が欲しかったので参加して良かったと思います。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	高齢化社会においてフレイルや認知症に関する知識は地域ニーズがある程度ある。
	②住民の参加	B	A	幅広い年代からの申し込みや参加があった。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各世代が集いあえる機会を創出することが必要。
	④各種団体との連携	A	A	地域包括ケア推進課と中央西地域包括支援センターと連携を取った。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	B	B	講習会の募集をちらしやHP「みんなの情報ひろば」やLINEで行った。
事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	講習会を通じ広く健康寿命や認知症予防を学ぶ機会となった。
	⑦住民の満足度	A	A	アンケートから満足度は高かったことが伺えた。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 講習会の開催を午前と午後の2回としたため住民にとって申し込みしやすくなった。参加者からは勉強になった、手帳を使って体調管理しますといった前向きな意見が多かった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

３．実施報告

［４］地域再生に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>中央西地区親睦ミニバレーボール大会事業</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２１年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">動く美しく活力のあるまち
④スポーツを利用した絆づくり＜スポーツ振興＞
(1)スポーツレクリエーションを通じた住民の交流</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">ミニバレーボールという誰でも参加できるスポーツを通して、情報交換や交流の場をつくり、地域振興、生涯スポーツを目指すことで世代間の交流を深め、地域の方の健康づくり、地域の活性化を推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">中央西まちづくり推進委員会と中央西地区体育会の共催で開催し、まちづくり推進委員会では企画、広報、準備などを担当し中央西地区体育会は競技の運営を行った。
今年度は、大人はミニバレー、小学生以下の子供は交流センターでレクリエーションを行った。

日時：令和6年6月30日（日）　9:00～13:00
場所：北部記念体育館、宮崎西地区交流センター
内容：大人26チーム、子どもレクリエーション31名</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">122,895　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>179　人</td><td>168　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>22　人</td><td>37　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>201　人</td><td>205　人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・楽しい時間を過ごすことができました。
・毎年楽しみしています。
・子どものレクレーションがあるので助かります。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	スポーツを通じて、互いに楽しく交流している。次回も参加したいとの声が多く、親睦が深まっている。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	A	A	地域の幼稚園や小学校のPTAチーム、同好会チームなどの参加が多い。また地域内の事業所チームの参加もあり、地域の活性化に繋がっている。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	ミニバレーボール大会を通して、地域住民や各種団体との連携が図られている。
効果的・効率的な取組	④各種団体との連携	A	A	中央西地区体育会との連携で共催事業とし、また自治会等を通じて参加者募集もした。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	自治会、小学校、中学校へチラシ配布。ＨＰみんなの情報ひろばに掲載。ＳＮＳで配信。交流センターにチラシ設置。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	一つのスポーツを共有することによって、地域住民間の横のつながりが生まれ、絆作りの一つとなっている。
事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	交流の場として人気があり、また、運動を始めるきっかけとなり次回も参加したいとの声も多い。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 毎年継続して行っており、参加者の意見等を通して毎年改善を行う事で、地域の中で好評をいただいている。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［４］地域再生に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>中央西地区大運動会事業</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２１年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">動く美しく活力のあるまち
①地域の伝統行事を大切にするまち＜伝統行事の継承＞
(1) 地域の大切な伝統行事である大運動会や地域の祭りを次世代に継承</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">中央西地区の運動会を開催し、スポーツを通して各自治会、各種団体、住民相互の連携を図り、地域間や世代間の交流を深めることにより明るい健全なまちづくりを目指す。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">まちづくり推進委員会地域振興部会と中央西地区体育会、子ども会、小・中学校、大学、自治会等による実行委員会を組織し、中央西地域全体の事業として取り組んだが衆議院選挙日と重なり、会場も選挙投票所となったため中止となった。
日時： 令和６年10月27日（日）　9:00～12:00　（中止）
場所： 西池小グラウンド</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">87,187　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>人</td><td>600　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>人</td><td>78　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>0　人</td><td>678　人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	幼児から高齢者まで幅広い年代の地域住民が一体となって参加出来る活動である。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	B	B	自治会対抗の大運動会であるが、全住民が参加出来、地域住民の健康増進、住民同士の交流にもなっている。今後の課題は減少傾向にある住民参加率の向上。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域全住民参加対象の大運動会は、各自治会同士の交流・地域活性化の一端を担っている。
効果的・効率的な取組	④各種団体との連携	B	B	自治会・体育会とも連携をとり取り組んでいる。今後の課題は地域内の他の団体や事業所との連携。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	チラシの自治会全戸配布、西池小・西中への配布。ＨＰ情報ひろばによる周知。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	事前準備から運営・片付け等迄、学校・自治会の協力があり、地域が一体となった取り組みになっている。
事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	幼児から高齢者まで幅広い年代の地域住民が参加しており、地域全体の取り組みとして認知度も高く、高評価をいただいている。

事業継続の必要性	(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 今年度は選挙の日程と重なった為、中止となった。 予備日があれば良かったが、会場の都合もあり予備日の設定が出来なかった。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［３］環境に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>リサイクル事業</td><td>実施年数</td><td>14 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２３年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">動く美しく活力のあるまち
②ごみのないきれいなまちづくり＜環境保全活動の推進＞
（1）ごみ減量のため、リサイクルを促進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">エコ活動を実践することでリサイクルの仕組みを学び、ゴミ減量やCO2削減など自然や人を大切にする心を育み、住みよいまちづくりを目指す。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">宮崎西地区交流センター入り口に設置した回収ボックスを活用し、プルタブ（アルミリング）や古切手などを地域住民に呼びかけて回収した。
また、昨年度から西池小学校と連携し、九州で最初の参加となる歯ブラシ・リサイクルプロジェクトに参加した。それらの回収を通して、美しい環境保全に関する意識の高揚を図った。
・プルタブ　10　kg　　（累計　291.0　kg　）6/25発送
・古切手　12月19日送付した。
・ハブラシ　　kg(西池小)、　kg(交流センター）令和7年3月回収
また、今年度は西中学校の家庭学習の一環として、中央西地域の環境活動を生徒たちに紹介し、環境の意識向上を図った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">7,137　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民及び宮崎西地区交流センター利用者</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>813　人</td><td>221　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>17　人</td><td>32　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>830　人</td><td>253　人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	地域住民が資源の大切さの理解を深め、リサイクル活動を身近に感じていただき自主的に参加できるようにする。
	②住民の参加	A	A	交流センターに回収ボックスを設置し、地域住民に広く利用できるようにしている。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	ゴミの減量化・再資源化の為、まちづくり推進委員会が広報し主体的に活動する事で地域住民のリサイクルの意識を高める。
	④各種団体との連携	B	B	地域の各種団体に様々な行事ごとに声かけをし、さらに啓発を深めていくことが必要である。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	地域振興部会委員が地域での呼びかけ。ＨＰ情報ひろばでの広報。まちづくり広報事業「中央西まちづくり新聞」での発信。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	ゴミの減量を目指すため、身近にできるリサイクルとして有効である。
	⑦住民の満足度	A	A	ゴミの減量化について、地域住民も一緒に考えさせられる事業である。
事業継続の必要性		有 ・ 無		

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 西中学校で、地域の環境に取り組むことを紹介することで、生徒たちの意識向上につながった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

３．実施報告

［３］環境に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>中央西花のまちづくり事業</td><td>実施年数</td><td>13 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２４年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">動く美しく活力のあるまち
③花でいっぱいのまちづくり＜環境美化活動の推進＞
(1) 交流センターを拠点とした花いっぱい運動</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">地域住民に呼びかけ、子どもから大人まで楽しめる講座を開催し、交流センターの玄関や庭を花で飾り、センターの利用者を和ませること。
地域の施設等に花のプランターを配布し、花いっぱいのまちづくりを目指している。地域にお住まいの講師に教えていただき親しみが増し、地域の輪が広がることを目的としている。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">実施日　（前期）令和6年 6月22日（土）　10:30～11:30
（後期）令和6年11月10日（土）　10:30～11:30

場所　宮崎西地区交流センターの学習室と庭（西側）
内容　受付時に負担金500円を徴収
講師より説明後、外で地域配布プランターと
交流センターのプランターの寄せ植えを行い
その後、学習室で個人用プランターを完成させる。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">261,829　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>61　人</td><td>62　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>19　人</td><td>23　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>80　人</td><td>85　人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年実施時にアンケートを行い、次回実行の参考にしている。また参加したいという声が多い。
	②住民の参加	A	A	人気の事業で、定員の4倍の申込みがあった。初めて申込される方を優先して抽選した。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	講座の際に、参加者に交流センター入口のプランターと、地域内の事業所に配付するプランターにも寄せ植えを行ってもらい、花のまちづくりに貢献している。
	④各種団体との連携	A	A	講師を地域の住民の方にしていただいているので親近感がある。講座内での質問もしやすく参加者からも好評である。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	・チラシ自治会全戸配布 ・ＨＰ情報ひろばでの広報。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	交流センターを拠点とした花いっぱい運動が広がっている。
	⑦住民の満足度	A	A	花の質や参加料に大変満足していただいている。玄関先にある大鉢の寄せ植えは、交流センターの来館者を楽しませている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ コロナ禍前の定員に戻し、前後期各１回開催した。各回において定員以上の申込みがあった。広く住民に認知されてきている事業であり、沢山の方が楽しみにされている講座なので住民の声を反映しながら引き続き開催していきたい。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［６］伝統文化に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>ふるさとの歴史伝承事業</td><td>実施年数</td><td>10 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">動く美しく活力のあるまち
①地域の伝統行事を大切にするまち＜伝統行事の継承＞
（1）地域の大切な伝統行事である大運動会や地域の祭りを
次世代に継承</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">中央西地区の歴史や文化を後世に伝える活動に取り組む。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">コロナ禍前は、地域振興部会を中心に西池小学校で先生と児童に盆踊りを教え練習を重ね、運動会の全校ダンスとして披露していたが、コロナ禍以降、西池小学校の運動会が規模縮小での開催となり、披露する機会がなくなった。
今年度は地域などの史跡を散策しふるさとの歴史を学ぶきっかけ作りとしたが、郷土史家の田代氏と調整がつかず、実施できなかったため、子ども育成部会主催の「わんぱく広場」にて子どもたちと「こままわし」などの昔遊びを通して歴史伝承を行った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">4,158　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和6年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>0　人</td><td>0　人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>4　人</td><td>4　人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>4　人</td><td>4　人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	地区内の歴史を学ぶことで、地域住民のふるさとに対する愛着を高め、次世代に継承していく。
	②住民の参加	B	－	予定していた内容が実施出来なかった為、昔遊びの伝承として地域の子供たちに対して実施。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	C	－	地域として、歴史伝承は必要な事であるが、内容を今一度見直す必要があると思われる。
	④各種団体との連携	C	－	今年度は他団体との連携は無かった。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	C	－	地域内に対して、事業を周知出来る状態にならなかった。
事業の効果	⑥課題解決への作用	C	－	実施可能な事業として、今後の見直しが必要。
	⑦住民の満足度	C	－	今年度は予定していた事業内容ではなかった為、満足度としては不十分であった。
事業継続の必要性		有 ・ 無		

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

３．実施報告

［７］地域教育に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>子どもとおとなの交流会事業</td><td>実施年数</td><td>15 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">開始：平成２２年度</td><td>終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">地域に関心を持とう
②若者が地域活動に参加するまちづくり＜学校との連携＞
(2) 学校との連携をはかり、学生の地域活動への参加を促進
子どもの笑顔があふれるまち
①未来を担う人を育てるまちづくり＜次世代の人材育成＞
(1) 子どもたちに地域活動の大切さを体験してもらい将来の人材育成</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">地域内の南九州大学と連携し、先生や学生方の協力のもと地産地消の意義を学び、地域社会や様々な年齢の人と交流を深めることで、次世代の人材育成、学生の地域活動への参加を促進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">日時　：　令和6年8月25日（日）　9:00～14:00
場所　：　南九州大学　宮崎キャンパス
内容　：　うどんでつなぐ地域のきずな
Ａコース　具材・デザート作り
～具の工夫でいろいろな食材を味わおう～
Ｂコース　うどん・だし作り
～夏の終わりにさっぱり手打ちうどんを味わおう～</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">148,533　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>53 人</td><td>42 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>11 人</td><td>22 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>64 人</td><td>64 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・なかなかゆっくり子どもたちと料理をする機会がなかったので楽しい夏休みの思い出になりました。
・とても楽しく活動させていただきました。去年も参加したのですが、このイベントを機会に家で料理のお手伝いをしてくれるようになったのでとても助かっています。来年も続けて参加させてもらいたいと思っています</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域社会との関りを持つことが、子どもや大学側にとって意義を持つことだと思われる。
	②住民の参加	A	A	附属小にもチラシを配布した事で、地域外の参加申込も多かった。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の大学と連携して事業を行うことで、学生にもまちづくりの取り組みを知ってもらえる機会ができた。
	④各種団体との連携	A	A	学校や自治会連合会、老人会などへ連絡をとり、参加者を広く募った。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	開催のチラシ ・自治会全戸配布。 ・小中学校の児童生徒を通じて配布。 ＨＰ情報ひろばで広報。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	夏にぴったりのさっぱり手打ちうどん作りで、家庭での調理にも繋がる取り組みであった。
	⑦住民の満足度	A	A	大学側の工夫された内容で参加された方は楽しめたと思う。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ コロナ禍も完全に明けたものの、感染対策をしっかりしながら実施した。合計の参加者数としては前年度と同じ人数であったが、一般参加者の人数は増え、地域の方がイベントを待ち望んでいることを改めて感じた。改善点としては、当日のキャンセルが数家族あったので、直前の再周知が必要ではないかと思う。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［７］地域教育に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>体験学習事業</td><td>実施年数</td><td>12 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２５年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">子どもの笑顔があふれるまち
①未来を担う人を育てるまちづくり＜次世代の人材育成＞
(1) 子どもたちに地域活動の大切さを体験してもらい、
将来の人材育成</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">地域の子どもと大人を対象に、自然を愛する心を育み、自然と「共生する」ための体験学習を実施し、次世代の人材育成を推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">実施日　：　令和6年8月4日(日)
場　所　：　しゃくなげの森
内　容　：　デイキャンプ

全員を対象に、川あそび教室（川の安全教室・溺れたときの救助方法等）を施設の方から講習を行って頂き、その後、子どもたちはヤマメのつかみ取りを行って、捕らえたヤマメを昼食として頂いた。

その後は、川あそびを中心に地域の方との交流を行った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">338,889　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>65　人</td><td>0　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>15　人</td><td>0　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>80　人</td><td>0　人</td></tr></table>※令和５年度は、台風接近に伴い中止した。</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">ヤマメ掴みや川遊びなど子どもたちが楽しめる事を同じくらいの年齢の子と体験できて良かったです。
宮崎市内であまり体験できない事で子どもたちも喜んでいたので良かった。また、参加したいです。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：Ａ 良い　Ｂ 普通　Ｃ 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	泊りキャンプは参加保護者の負担大となるため日帰りでのキャンプを計画した。
	②住民の参加	A	A	参加者は５０人程度を見込んでいたが、予想を大きく超える参加申込数となった。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	同じ地域の異年齢の子どもたちと、その親が交流を深めることができる事業である。
	④各種団体との連携	A	A	広報において、子ども会や自治会から積極的な呼びかけをお願いするよう働きかけた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	小学校を通じたチラシ配付、自治会回覧板、情報ひろばでの周知を行った。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	－	参加者全員で協力しながら子どもを見守る環境が作られ、子育て世代のサポートにつながる。
	⑦住民の満足度	A	－	このようなイベントが減ってきていることもあり、参加者の方から多くの感謝の言葉が寄せられた。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 泊りキャンプは、参加保護者やスタッフの負担が大きいとの事から、日帰りキャンプ体験を企画・立案した。５０名程度の参加者を予定したが、申込者は１００名以上となり大変人気の高い事業と感じられた。午後の自由時間が少し長かったとの声も聞かれたので、来年の時間配分には気を配ろうと思う。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（平成　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（平成　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［７］地域教育に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>子育てサポート事業</td><td>実施年数</td><td>10 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２７年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">子どもの笑顔があふれるまち
②安心して子育てのできるまちづくり
＜子育て世代の地域活動への参加促進＞
（１）子育て世代がイベントに参加しやすい環境づくり
（２）子育て世代のサポート</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">地域の要望に応じ、地域で子育てしやすい環境づくり、子育て世代の支援の充実を図ることで、子育て世代の地域活動への参加を促進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・西池小参観日の児童見守り活動
4月21日，6月27日，6月28日，12月3日，12月10日，2月13日
2月14日の7回の活動
・西池小卒業式の児童見守り活動　3月23日

・附属小学校からの要請で、附属小わんぱくフェスタにて計算トランプを実施した。日時：11/16（土）12：10～14:15

・子どもの見守りやボランティア活動に活用する「KOTONカード」を作成し児童・生徒に配付。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">134,164　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>利用者
(児童)</td><td>741　人</td><td>438　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>延べ　47　人</td><td>延べ　72　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>788　人</td><td>510　人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">西池小北児童クラブへ導入した入退館システムについて、利用保護者にアンケートを実施した結果、約8割の保護者が有効なシステムだと認識しており、西池小南児童クラブへも展開した。
昨年同様、北・南児童クラブへアンケートを実施した結果、約9割の保護者が良いシステムだと思うとの結果であった。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	附属小学校PTAから要請をうけ、わんぱくフェスタに参加し計算トランプを実施した。
	②住民の参加	B	A	部会員や、地域の一般住民がボランティア活動として参観日の見守り活動に参加されている。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域で子育てしやすいまちづくりを目指し、環境を整える事業である。
	④各種団体との連携	A	A	まちの応援隊の方々に見守り活動協力の声掛けをして事業を行っている。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	学校との密な連絡体制を図ることで、地域への情報発信など円滑な周知ができた。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	KOTONカードを配付したことにより、地域活動を子育て世代に広く周知することができた。
	⑦住民の満足度	A	A	子どもたちに何かあった時に地域住民の見守りは心強いと評価を受けている。
事業継続の必要性				(有)・　無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 参観日の見守りは、保護者の方が安心して懇談会などに参加できるため、大変感謝されている。ただ、やはり平日であるため、スタッフの参加者を確保することが今後の課題になると思う。 わんぱくフェスタに関しては、行列ができる程盛況であり、時間になってできなかった子どもたちもいたので、できればもう少し広い場所で行えるとありがたい。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

３．実施報告

［７］地域教育に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>子どもふれあい広場事業</td><td>実施年数</td><td>９年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２８年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">子どもの笑顔があふれるまち
①未来を担う人を育てる、まちづくり＜次世代の人材育成＞
(1)子どもたちに地域活動の大切さを体験してもらい、
将来の人材育成
②安心して子育てのできるまちづくり
＜子育て世代の地域活動への参加促進＞
(1)子育て世代がイベントに参加しやすいような環境づくり</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">地域の子どもたちを対象に、遊びの場や材料を提供し、子どもの遊びに対する興味や好奇心を最大限に引き出し、楽しい思い出を作ることで、子どもたちが将来も住みたいと思うまちづくりを推進する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">実施日　　令和６年12月1日（日）　　10：00～12：00
場　所　　祇園運動広場
内　容　　健康ふくしまつりと併催した。
・ミニSLコーナー（まちづくりが担当）
・昔のあそびコーナー（中央西地区老人クラブ連合会が担当）
・実験コーナー（南九州大学食品開発科学科　学生ボランティア）
【南九州大学　事前プレゼンテーション】
・1回目　令和6年 7月29日　53名参加(スタッフ含む)
・2回目　令和6年10月10日　27名参加(スタッフ含む)</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">172,817　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
(内訳)</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>162　人</td><td>161　人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>77　人</td><td>48　人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>239　人</td><td>209　人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">こどもたちが楽しく参加できるコーナーが多く良かったです。
毎年、楽しみにして来ています。
南九大の学生さんのイベントがあって子どもたちも喜んでいました。
また、来年もきます。ありがとうございます。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域住民および三世代交流の機会として重要である。
	②住民の参加	A	A	大学生、老人クラブの協力が得られた。また、多数の地域の子どもたち家族連れの参加が多かった。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域住民の方々に参加協力してもらえる体制ができた。
	④各種団体との連携	B	A	南九州大学の学生、老人クラブとの連携が図れた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	小学校へのチラシ配布。 HPみんなの情報ひろば・LINEでの広報。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	未就学児、子育て世代の親子連れの参加が多かった。また、今回初めての参加者も多く、幅広い地域からの参加があった。
	⑦住民の満足度	A	A	参加した子ども達や保護者、地域住民、また協力団体からの高い評価を得ている。
事業継続の必要性				(有)・無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ ミニSLは人気で、多くの子どもたちが参加した。地域・学校、そして子どもから高齢者まで一体となった密度の濃いイベントであった。ただ、南九州大学の学生との打ち合わせをもっと綿密にして、併催している健康ふくしまつりとの人の行き来を良くすれば、さらなる参加者が見込まれると思う。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未・済

３．実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>事務局運営事業</td><td>実施年数</td><td>13 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２４年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">「文化あふれ、生きいき元気なまち　中央西」
組織間の連携をはかり活気あふれ、住民がずっと住み続けたいと思う魅力ある地域を目指す。</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">・推進委員がまちづくり活動に安心して参加できるように、
活動保険に加入する。
・円滑な事務運営をするために事務用品を購入する。
・地域と学校の連携を深め、まちづくり活動の重要性を若い世代に伝える。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・委員のボランティア活動保険加入
・通年　　事務用品の購入
・２月～３月　役員・委員に対して費用弁償の支給

・令和6年12月13日（金）附属小学校で地域交流「伝承遊び」に地域住民が参加してもらうようＰＲを行った。

・令和6年11月8、14，21日で、西中学校の授業の一環として「お魚解体ショー」に地域住民も参加してもらうようＰＲを行った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">1,004,304　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">まちづくり推進委員会委員、事務局</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>276　人</td><td>429　人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>34　人</td><td>131　人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>310　人</td><td>560　人</td></tr>
</table>※令和6年度は、附属小「伝承遊び」、西中「地域交流：お魚解体ショー」に一般、スタッフが参加</td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項	評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	－	－		広報	⑤事業の周知	－	－	
	②住民の参加	－	－		事業の効果	⑥課題解決への作用	－	－	
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	－	－			⑦住民の満足度	－	－	
	④各種団体との連携	－	－		事業継続の必要性		有 ・ 無		

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

３．実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>まちづくり広報事業</td><td>実施年数</td><td>11 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２６年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">地域に関心を持とう
①住民が地域活動に関心を持っているまち＜活動内容の周知＞
（２）地域内の活動に関する情報を共有</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">地域住民がまちづくり推進委員会の活動や意義を理解し、興味関心を持つようにする。

かわら版では「イベント情報」「活動報告」などを提供し、旬の情報や地域の魅力を伝える。

まちづくり掲示板を通して、まちづくり事業や自治会活動の情報を提供することで積極的な参加を促す。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・地域住民にまちづくり事業の各部の活動状況やイベントの様子をタイムリーな「中央西まちづくりかわら版」として発行した。
・また、まちづくり新聞も発行した。特に紙面作りに西中学校の美術部の生徒に作成してもらうことで、地域と学校のつながりを深めた。

・かわら版　　7月、10月、1月　　３回発行
・まちづくり新聞　　3月発行
（自治会全戸配布、学校配付）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">107,400　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>延べ　－　人</td><td>延べ　－　人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>延べ　64　人</td><td>延べ　64　人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>64　人</td><td>64　人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	まちづくり事業の案内や紹介を、電子版だけでなく、紙面で届けることにより、特に高齢者に喜ばれている。
住民主体のまちづくり	②住民の参加	B	B	かわら版や新聞を通して地域内情報が地域住民へ流れることで住民同士のつながりが広まっている。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域内の活動を伝えられるメディアとして非常に重要である。
効果的・効率的な取組	④各種団体との連携	A	A	（自治会連合会から）広報委員として参加された方から、新聞の記事の情報をいただける。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	かわら版をHP情報ひろばに掲載して多角的に周知を図った。 かわら版の定期的な継続発行が地域への周知となる。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	広報・魅力アップ分科会のメンバーに自治会連合会や公募の方々に入ってもらうことで、情報網の充実を図った。
事業の効果	⑦住民の満足度	A	A	かわら版は、今までにない切り口の記事が多く面白いと好評である。
事業継続の必要性				有 ・ 無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 地域と学校との連携を深める仕掛けとして、新聞紙面作成に宮崎西中学校の美術部生徒に企画～紙面作成まで参加してもらった。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和年月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

３．実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>中央西みんなの情報ひろば事業</td><td>実施年数</td><td>９年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：平成２８年度</td><td colspan="2">終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">地域に関心をもとう

①住民が地域活動に関心をもっているまち
＜活動内容の周知＞</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">地域情報やまちづくりの情報を「中央西みんなの情報ひろば」のホームページにアップし、地域住民が地域に関心を持つようにする。ＩＣＴを活用し、気軽に情報を得られるよう広報活動に繋げていく。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・「中央西みんなの情報ひろば」のホームページを利用して、まちづくり事業のイベントの開催や活動内容、新聞等を配信した。
また、公式LINE を利用して、緊急性のあるイベント等のお知らせを配信した。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">576,920　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>－　人</td><td>－　人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>－　人</td><td>－　人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>0　人</td><td>0　人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：Ａ 良い　Ｂ 普通　Ｃ 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域活動の情報を共有することで、各団体が活動予定など立案しやすい
	②住民の参加	A	A	スマホでＱＲコードを読むことで容易にアクセスできる。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり事業を広く広報する事は重要である。
	④各種団体との連携	A	A	「みんなの情報ひろば」は、元は自治会連合会の事業であり連携して広報活動が行える。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	各事業の参加募集チラシに情報ひろばのQRコードを掲載している。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	時代と世代に合わせた発信が可能となっている。
	⑦住民の満足度	A	A	LINE登録者の増加により、地域住民の認知度が高まった。
事業継続の必要性				（有）・　無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　年　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

３．実施報告

［８］その他の事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>災害対応資機材等購入事業</td><td>実施年数</td><td>６年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">開始：平成３１年度</td><td>終了：なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">近所づきあいで、ゆとりのあるまち
②災害につよいまちづくり
＜災害時の要援護者支援の充実＞
（１）災害に対する啓発を行い、防災意識の向上</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">災害時に必要とする資機材等を購入し、災害に強いまちづくりを目指す。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">自治会長、自治会連合会、自主防災組織委員とまちづくり委員会で組織する「中央西災害対応資機材等管理運営委員会」で協議を行い、購入品を決定した。

≪購入品目≫
簡易トイレ（100回分×4セット）
給水バッグ（8L×20個）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">37,340　　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">中央西地区住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和６年度</td><td>令和５年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>―　人</td><td>―　人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>―　人</td><td>―　人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>0　人</td><td>0　人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	災害に強いまちづくりは地域の喫緊の課題である。
	②住民の参加	A	A	購入した資機材等を災害啓発に活用し、広く住民に知らしめていきたい。
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	災害に備えることは、まちづくりの重要な取り組みである。
	④各種団体との連携	A	A	「資機材管理運営委員会」で購入品の検討を行い、自治会連合会をはじめとする各種団体との連携が図れた。
広報	⑤事業の周知	A	A	購入した資機材を地域自治会連合会を通して地域住民全戸に周知した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	所有する防災資機材一覧を自治会、地域防災士などに公開することで防災意識の向上に繋げた。
	⑦住民の満足度	B	B	平時においても中央西地区の各種団体に資機材の無料貸出しをしており好評である。
事業継続の必要性				有 ・ 無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞ 現在、防災資機材保管倉庫は西池小グランドの一角にあるが利便性から宮崎西地区交流センターへの移設が望ましいと思われる。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区防犯事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	122,520	
5	その他	0	
6	合計（A）	122,520	

（2）支出の部

番号	項目		金額	備考
1				
2				
3				
4	需用費	需用	120,510	消耗品　56,500　新入生防犯グッズR6年度分 48,500　新入生防犯グッズR7年度分 5,750　レインウエア 印刷製本　9,760　防犯講座チラシ
5	役務費	役務	2,010	通信運搬費　1,680　切手 代引手数料　330
6	委託料	委託	0	
7	使用料及び賃貸料	使用	0	
8	工事請負費	工事	0	
9	原材料費	原材	0	
10	備品購入費	備品	0	
11	公課費	公課	0	
12	合計（B）		122,520	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区防災事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項　　目	金額	備　　考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	170,520	
5	その他	0	
6	合計（A）	170,520	

（2）支出の部

番号	項　　目	金額	備　　考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	148,615	印刷製本費　23,240　ちらし 消耗品費　38,510　準備品 66,000　参加賞品 食糧費　20,865　スタッフ軽食
5	役務費	12,590	保険料　8,400　参加者傷害保険料（ボランティアのみ） 手数料　1,790　保険、ちらし印刷振込手数料 2,400　道路使用申請手数料（北警察署）
6	委託料	9,315	河川敷駐車場案内委託
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	170,520	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区青色パトロール隊事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	580,991	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	580,991	

（2）支出の部

番号	項目		金額	備考
1	賃金	賃金	0	
2	報償費	報償	0	
3	旅費	旅費	0	
4	需用費	需用	87,737	消耗品費　1,259　用品 食糧費　33,101　お茶 燃料費　53,377　ガソリン
5	役務費	役務	95,714	通信運搬費　8,020　切手 保険料　79,464　任意保険料（12か月） 7,350　青パト隊員傷害保険料 手数料　880　振込手数料
6	委託料	委託	0	
7	使用料及び賃貸料	使用	397,540	397,540　青パト車リース
8	工事請負費	工事	0	
9	原材料費	原材	0	
10	備品購入費	備品	0	
11	公課費	公課	0	
12	合計（B）		580,991	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	健康ふくしまつり事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	342,441	
5	その他	0	
6	合計（A）	342,441	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	9,000	3団体　協力団体謝礼金
3	旅費	0	
4	需用費	183,396	印刷製本費　14,900　チラシ 消耗品費　3,544　紙袋、ﾋﾞﾆｰﾙ袋、文具 130,358　抽選会景品代 食糧費　34,594　スタッフ賄い、お茶
5	役務費	14,040	保険料　11,200　まつり参加者傷害保険料 手数料　440　振込手数料 2,400　道路使用申請手数料（北警察署）
6	委託料	136,005	23,805　河川敷駐車場案内 112,200　ﾃﾝﾄ、机等のﾚﾝﾀﾙ
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	342,441	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	高齢者と子どもの居場所づくり事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	112,388	
5	その他	0	
6	合計（A）	112,388	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	72,000	講師謝礼（ぴよスケ）
3	旅費	0	
4	需用費	35,348	賄い材料費　35,348　地域食堂、子ども食堂
5	役務費	5,040	保険料　5,040　サロン参加者傷害保険料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	112,388	

公課費	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	講習会事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	10,090	
5	その他	0	
6	合計（A）	10,090	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	9,760	印刷製本費　9,760　チラシ
5	役務費	330	手数料　330　チラシ印刷手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	10,090	

公課費	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区親睦ミニバレーボール大会事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	122,895	
5	その他	0	
6	合計（A）	122,895	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	117,715	印刷製本費　55,176 チラシ・ポスター代 消耗品費　33,396 賞品代　各ブロック分 11,487 ボール8個、ウイルス対策用品 食糧費　17,656 ｽﾀｯﾌ弁当・お茶’
5	役務費	5,180	保険料　5,180 参加者傷害保険料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	公課費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	122,895	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西地区大運動会事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	87,187	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	87,187	

（2）支出の部

衆議院議員選挙に伴い中止となった。
運動会会場予定地が投票所となったため。

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	86,747	印刷製本費　11,870　チラシ 11,000　プログラム用紙ミシン目入れ 消耗品費　63,657　競技の参加賞' 220　競技用品他
5	役務費	440	手数料　440　チラシ振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	公課費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	87,187	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	リサイクル事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	7,137	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	7,137	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	4,900	食糧費　スタッフ弁当
5	役務費	2,237	通信運搬費　プルタブ、古切手 郵送料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	7,137	

公課費	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西花のまちづくり事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	231,329	
2	補助金	0	
3	負担金	30,500	寄せ植え花かご講座参加者負担金　500円×61人
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	261,829	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	12,000	12,000　講師謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	240,113	消耗品費　222,557　花材、土 印刷製本費　15,300　ちらし 食糧費　2,256　お茶
5	役務費	9,716	通信運搬費　6,770　参加者への案内葉書 保険料　1,736　参加者傷害保険料 手数料　1,210　印刷、保険振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	261,829	

公課費

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	ふるさとの歴史伝承事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	4,158	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	4,158	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	4,158	消耗品費　4,158　昔遊び：こま、紙風船等購入
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	4,158	

公課費	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	子どもとおとなの交流会事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	8,100	
4	繰越金	140,433	
5	その他	0	
6	合計（A）	148,533	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	48,000	48,000　講師、補助者謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	77,809	消耗品費　31,656　紙皿、紙コップ、箸等 印刷製本費　11,870　チラシ：西池小、附属小 賄い材料費　34,283　80人分
5	役務費	4,724	通信運搬費　2,520　参加者への案内用はがき 保険料　1,764　参加者傷害保険料 手数料　440　チラシ振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	18,000	18,000　施設使用料
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	148,533	

公課費

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	体験学習事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	291,389	
2	補助金	0	
3	負担金	47,500	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	338,889	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	16,424	消耗品費　3,584　食事容器、準備物 印刷製本費　12,840　ちらし
5	役務費	13,525	保険料　8,820　参加者傷害保険料 手数料　1,870　保険、施設、バス代振込手数料 通信運搬費　2,835　参加者への案内用はがき
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	308,940	5,000　トラック使用料 227,940　貸切バス2台 76,000　入村料
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	338,889	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	子育てサポート事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	134,164	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	134,164	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	45,284	消耗品費　11,364　QRコード一式 印刷製本費　3,120　KOTONカード登録案内チラシ 30,800　ちボラカード（西中新1年生分）
5	役務費	880	手数料　880　チラシ、委託料振込手数料
6	委託料	88,000	88,000　KOTONカード作成業務委託
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	134,164	

公課費	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	子どもふれあい広場事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	172,817	
5	その他	0	
6	合計（A）	172,817	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	5,000	5,000 ミニＳＬ運転謝礼
3	旅費	0	
4	需用費	66,867	消耗品費 15,088 イベント準備品 27,182 南九大サイエンス準備品 7,300 チラシ用紙 食糧費 17,297 スタッフ弁当・お茶
5	役務費	6,200	通信運搬費 3,400 参加者案内葉書 保険料 2,800 参加者傷害保険料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	94,750	35,750 テント他レンタル代 55,000 ミニSL運行燃料、保守他 4,000 準備品運搬用軽トラ借上げ
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	172,817	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	事務局運営事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	728,926	
2	寄付金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	273,201	
5	その他	2,177	預金利息
6	合計（A）	1,004,304	

（2）支出の部

番号	項目		金額	備考
1	賃金	賃金	268,200	局員の時間外手当
2	報償費	報償	0	
3	旅費	旅費	110,500	役員・委員活動経費
4	需用費	需用	387,388	消耗品費 315,632 事務用品 38,060 ｾﾝﾀｰ印刷機ｲﾝｸ・ﾏｽﾀｰ代 印刷製本費 31,440 まちづくりプラン印刷代 食糧費 2,256 お茶
5	役務費	役務	146,006	通信運搬費 12,956 切手ほか 108,010 電話（固定、携帯） 手数料 660 まちづくりプラン代引手数料 1,430 事務用品振込手数料 保険料 19,950 委員年間保険料 その他 3,000 赤ジャンパー洗濯
6	委託料	委託	0	
7	使用料及び賃貸料	使用	92,210	91,810 プリンターリースほか 400 駐車場使用料
8	工事請負費	工事	0	
9	原材料費	原材	0	
10	備品購入費	備品	0	
11	公課費	公課	0	
12	合計（B）		1,004,304	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり広報事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	107,400	
5	その他	0	
6	合計（A）	107,400	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	106,080	印刷製本費　51,740　かわら版A4版印刷 54,340　新聞A3版印刷
5	役務費	1,320	その他　1,320　印刷、掲示板振込手数料
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	公課費	107,400	

収支差額（A）－（B）	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	中央西みんなの情報ひろば事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	576,920	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	576,920	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	0	
5	役務費	1,100	手数料　保守・管理業務委託振込手数料
6	委託料	360,000	システム保守・管理業務委託
7	使用料及び賃貸料	215,820	LINE年間使用料（ﾌﾟﾚﾐｱﾑID含む）
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	576,920	

公課費	0

様式第7号

事　業　別　収　支　計　算　書

中央西地域自治区
中央西まちづくり推進委員会

事業名	災害対応資機材等購入事業

（1）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	37,340	
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰越金	0	
5	その他	0	
6	合計（A）	37,340	

（2）支出の部

番号	項目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	37,340	消耗品　25,780　簡単トイレ100回×４個 11,560　給水タンク×５個
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃貸料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	公課費	0	
12	合計（B）	37,340	

公課費

収支差額（A）－（B）	0

（様式第８号）

令和７年３月３１日

令和６年度 中央西地域自治区の地域まちづくり推進委員会への意見書［事業実施報告］

中央西地域自治区地域協議会
会　長　津 村 重 光

令和６年度の中央西地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算については、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

１．総括

地域のニーズに対応して、各種団体との連携により、地域と一体となって各種事業に取り組むことを目標とされ、概ね期待どおりの成果を得られました。

２．事業の推進体制

まちづくり推進委員会への地域の各種団体を含めた多様な主体の参画を図ることにより、中央西地域のさらなる活性化に繋がるよう努めてください。

３．各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
ふるさとの歴史伝承事業	令和７年度は、同事業を一旦中止して、中学生ボランテイアの育成に取り組まれるということですが、地域の歴史について興味を持っている人も多いのではないかと思われますので、将来的に、講演会等また別の形での開催について、検討をお願いします。

様式第９号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年４月 １７日

宮崎市長　　清山　知憲　殿

主たる事務所の所在地	宮崎市祇園1丁目49番地
名　　称	中央西まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名	委員長　和田　知彦
電　話　番　号	0985-69-0507

令和６年５月21日付けで変更交付承認のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において、1,463,459円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金	1,463,459　円
特例交付金	０ 円

添付書類

令和6年度収支決算書